

途上国と日本をつなぐ遠隔研修 「サイバー攻撃防御演習」

新型コロナウイルスの感染防止で在宅勤務が広がる中、サイバー攻撃リスクが高まっています。それは途上国においても同様で、特にサイバーセキュリティ強化は急務になっています。

国際協力機構東京センター（JICA 東京）では、途上国の行政機関でサイバーセキュリティを担う職員を対象に、課題別研修「サイバー攻撃防御演習」（受入期間：9月23日～10月2日）を実施します。これまで当機構の課題別研修は途上国から研修員を招き、日本で研修を行ってきました。しかし、新型コロナウイルスの影響により、今回の研修員は自国からビデオ会議サービス等を通じた遠隔研修の形で、演習を含んだ技術を習得したり、日本の講師や各国の研修員との意見交換を行ったりします。

本研修では、標的型攻撃に対するインシデントレスポンス（被害の早期発見・検知ならびに対処）能力の向上を目的に様々な演習や脅威情報の収集や分析等を学び、自国に対するセキュリティ対策の改善に役立ててもらおうことを目指しています。本研修はFBI、インターポールや日本国内の法執行機関へのサイバー犯罪の捜査能力向上支援の経験を持つトレンドマイクロ株式会社と連携しています。

取材いただける場合は、お手数ですが、下記問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。

<ご参考>

- 研修コース名 : JICA 東京 課題別研修「サイバー攻撃防御演習（グループA）」
全体研修期間 : 2020年9月23日（水）～10月2日（金）
研修員 : 11名（対象国：インドネシア、フィリピン、カンボジア、ベトナム、ミャンマー、東ティモール、バングラデシュ、ネパール）

【本件に関する お問い合わせ先】

JICA 東京 経済基盤開発・環境課（広報担当：岩永、研修担当：亀井）
TEL 03-3485-7652 e-mail : Iwanaga.Yumiko@jica.go.jp, Kamei.Chihiro2@jica.go.jp
JICA ガバナンス・平和構築部STI・DX室（研修担当：篠）Shino.Masao@jica.go.jp